

# 国立公文書館の概要

平成26年5月

## 1. 沿革

- 昭和46年(1971)7月1日 総理府の附属機関として開館
- 平成10年(1998)7月1日 つくば分館開館
- 平成13年(2001)4月1日 独立行政法人化
- " 11月30日 アジア歴史資料センター開設

## 2. 役職員

- 役員:4名(館長、理事、監事(非常勤)2名)
- 職員:47名(定員:平成26年度)

## 3. 施設

- 本館:東京都千代田区北の丸公園
- 分館:茨城県つくば市上沢

## 4. 予算

- 平成25年度予算額 1,990百万円  
(運営費交付金:1,944百万円、施設整備費補助金:46百万円)
- 平成26年度予算額 2,015百万円  
(運営費交付金:1,979百万円、施設整備費補助金:36百万円)



本館(北の丸公園)



つくば分館

# ①国立公文書館の目的と機能

**目的** 特定歴史公文書等を保存し、及び一般の利用に供すること等の事業を行うことにより、  
歴史公文書等の適切な保存及び利用を図ること(国立公文書館法第4条)



## 国立公文書館(本館)

建物 地上4階地下2階(4層)  
書架 35km

## つくば分館

建物 地上3階  
書架 37km



アジア歴史資料データベース  
2001年開設  
インターネットを通じ、情報提供

保存

(中間書庫)

【行政機関等】公文書等の移管  
集中管理の推進



くん蒸  
整理・排架  
修復  
フォーマット変換(電子文書)  
等

利用

【利用者】来館利用  
ウェブからのアクセス



目録の作成・公開  
閲覧・写しの交付  
展示・貸出し  
デジタル・アーカイブ  
公開審査  
等

情報収集・整理、提供

専門的技術的助言

調査研究

研修

その他の機能

## ②文書の保存

### ○所蔵する公文書等 約135万冊 (平成26年3月現在)

- ①明治初期から現代までの国の重要な意思決定に関わる憲法、法律、勅令、政令、条約の公布原本を始めとする公文書(約85万冊)
- ②江戸時代以前の幕府を始め寺社・公家・武家などが所蔵していた古書や古文書(約50万冊)

※重要文化財の指定を受けているものは29件



### ○書庫(東京・つくば)

#### ①所蔵量

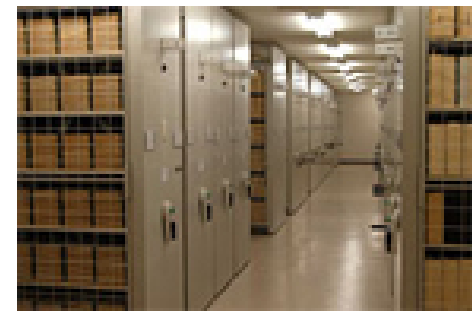
約59km、平成25年度受入分は約2万4千冊  
東京:約35km中、約32kmを使用(約91%)  
つくば:約37km中、約28kmを使用(約74%)  
平成31年度頃に満架に達する見込み。



書庫(東京本館)

#### ②保存環境

所蔵資料を定温(22℃前後)定湿(55%前後)の温湿度管理を行った専用書庫で適切に保存。  
必要に応じて、修復や劣化防止措置を実施。



書庫(つくば分館)